

3月3日  
耳の日

## 耳をのぞいてみましょう

子どもの耳を観察してみてください。びっくりするほど耳あかが詰まっていることがあります。あまりすぎていると聞こえが悪くなったり、プールに入ると水でふやけて鼓膜を圧迫したり、ときには菌が繁殖して、外耳炎を起こすこともあります。

耳あかが見えていても取りづらいときは、無理をせず耳鼻科を受診しましょう



ほけんだより

3月号

令和5年度

社会福祉法人 栗石保育園 保健室

春の日差しが心地よい季節になりました。園庭に出て外遊びを楽しむ子供たちを見て春を感じています。あお組さんのお部屋からは卒園式の歌が…。今年も出会いと別れの季節がすぐそこまで来ています。朝晩の気温はまだ低いですが、日中は汗ばむ日も。重ね着をするなどして気温の変化に対応できる服装での登園をおすすめします。また、気温の変化に体調を崩しやすくなります。十分に休息がとれるようにしていきたいですね。



## 気になる耳の病気

### 急性中耳炎

鼓の奥の中耳とよばれる場所に、細菌やウイルスが入り腫れが起こる病気です。風邪などをきっかけに起こることが多く、耳を痛がったり、熱がでたり、耳垂れが出たりします。

### 治療

鼓膜の状況を観察し重症度を判定して決めていきます。

必ずしも抗菌薬や鼓膜切開は必要になるとは限りません。大切なことは、数日ごとに鼓膜を観察してもらうことと、処方された薬を自己判断でやめないことです。

### 家庭で気をつけること

鼻水が多いときは、家庭でこまめに吸い取ってあげましょう。

(自分で鼻をうまくかめるようになるまでは市販の鼻吸引機を使うのもよいでしょう。)

入浴は鼓膜が破れているときは、入浴時に耳の中に水がはいらないように注意しましょう。(受診時に主治医の先生に入浴についても確認するとよいでしょう。)

### 保育園の登園について

痛みや熱がなければ登園は可能です。ただし、プールに関しては主治医の先生に確認しましょう。

## ご家庭でコロナウイルス感染症やインフルエンザが発症した場合の登園について

現在静かではありますが、コロナウイルス感染症、インフルエンザが発生しております。登園するお子さんに発熱・咳・鼻水・食欲不振などの症状がない場合登園は可能ですが、おうちの方が送迎する際は、玄関の外でお子様をお預かりすることとなります。理由は、子どもたちは全員がマスクを着用することができないこと、感染症に対して抵抗力のない子が集団生活をしていること(喘息やその他の基礎疾患をもっている子も居ります。)、登園・降園時間の玄関での混雑の緩和のためです。ご家庭でこれらの感染症に罹患した場合は速やかに園までご連絡いただき、園からの送迎に関する説明を聞いてご協力いただきますようお願い申し上げます。

